

明日は、3月11日です

明日は、3月11日です。今から12年前の2011年3月11日午後2時46分に、東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震による災害のことを東日本大震災といいます。

この東北地方太平洋沖地震では、大きな地震が起こっただけではなく、巨大な津波もやってきました。津波の高さは、所によっては、14.8mもあったそうです。

これまでに確認された亡くなった方と行方不明者は、避難生活などで亡くなった『震災関連死』も含めると、2万人にもものぼるそうです。

また、地震により原子力発電所も大きな被害を受けました。たくさんの人たちが放射線の被害から逃れるために、慣れ親しんだ自分のふるさとを離れないといけないう状態となりました。

12年たった今でも行方がわからない人がたくさんいます。そして、家族や友人など、大切な人の帰りを今も待ち続けている人がたくさんいます。

明日は、テレビや新聞、ラジオなどを通して、東日本大震災のニュースをたくさん耳にし、目にすることがあると思います。

明日（3月11日）午後2時46分、亡くなった方々のご冥福をお祈りしたいと思います。

また、毎朝子どもたちが登校したときに、『花は咲く』の曲を流しています。この曲は、震災の復興ソングです。タイトルの『花は咲く』という言葉は、歌詞の中に何度も繰り返して出てきます。歌詞に込められた『未来へ向けた祈り』『願い』そして、『静かに穏やかに前を向くことを後押しする』思いが込められた曲になっています。『いつか生まれる君に 私は何を残しただろう』という歌詞も心に響く言葉です。

本校では、『はるかのひまわり絆プロジェクト』『命の一本桜プロジェクト』をはじめ、防災教育に力を入れてきました。

『3.11』をきっかけに、水や食料、懐中電灯等『避難グッズ』の備えや、あいさつを通して地域とつながること等、家族で防災について話し合うよい機会になるとうれしいです

お礼の会を行いました

3月6日（月）に、日頃お世話になっている地域の方（代表）をお招きして、全校生で感謝の気持ちを伝えました。



（地域の皆様）
いつも温かく見守っていただき、どうもありがとうございます。おかげで、安心して登下校ができます。

みなさんが、無事学校に到着すると、ホッとします。毎日元気に学校に通ってくれることが本当にうれしいです。

みなさんの元気なあいさつや温かい言葉が、とてもうれしいです。



春です

平荘小学校の木々や草花が、春の訪れを知らせてくれています。



卒業式の練習が始まりました

3月6日（月）の5時間目に、6年生が、卒業式の練習に向けて、会場づくりを行いました。一人一人が大変前向きに取り組みました。



友達と協力しながら和やかな雰囲気の中、活動ができました。



「あっ、砂が落ちている！」と、気づけば進んで掃き掃除をしていました。
イス並べでは、等間隔で真っすぐに並べられるよう、友だちと協力しながら設営ができました。



休憩時には、みんなで歌を口ずさむ場面もありました。集合時刻を意識しながら考えて行動ができていました。特に、教室から体育館への移動の様子を見るだけで、6年生の卒業式への真剣な思いがよく伝わってきます。